

「令和7年度踏切道改良協議会合同会議（長崎県）」開く  
「小江第一踏切道」（諫早市）の車道拡幅工、令和8年度着工を目指す



踏切道改良促進法に基づいて開かれた「令和7年度踏切道改良協議会合同会議」

九州地整局と九州運輸局等で構成される長崎県踏切道改良協議会は、「令和7年度踏切道改良協議会合同会議（長崎県）」を2日、福岡市の東福第二ビルで開き、国土交通大臣から認可を受けた「小江第一踏切道」（諫早市）の車道拡幅工事について協議し、令和8年度の着工を目指す。

冒頭、議長として挨拶に立った九州地方整備局道路部の永田哲也地域道路調整官は「踏切道改良促進法に基づき国土交通大臣が改良すべく踏切道を指定された箇所に対して、踏切保安設備の整備、踏切の廃止等を実施してきたところでございます。踏切道における事故防止及び交通円滑化のためには、様々な課題を解決していくことが重要と考えておりますので、関係者の皆様へご協力と本日会議にて忌憚のないご意見等いただければと思っております」と挨拶した。



議長挨拶の永田地域道路調整官

令和7年12月23日に認可を受けた「小江第一踏切道」（諫早市）は、佐賀・長崎鉄道管理センターが管轄する踏切として、地域住民や車両の通行が多く車道幅員が狭小なため、安全な通行が確保されていない状況にある。改良方法として道路拡幅を7mと計画しており、令和7年度に詳細設計等を実施し、令和8年度に工事着手、令和9年度完了予定としている。